

# 平成29年度 佐久市立中込中学校グランドデザイン



## 学校長の願い

### 【教育方針】

- ・ 人権感覚を磨き、温かな人間関係作りをベースとした学校づくりを推進する。
- ・ 学力向上を支える、運動・食事・睡眠・メディアなど、生活習慣の見直しと改善を行う。
- ・ 学校、保護者、地域が手を取り合い、一体となった「チーム中込」を一層推進する。

### <全校研究テーマ>

基礎・基本の定着と学習に向かう気持ちを育てる授業の創造  
～1時間の学習課題を明確につかみ、学力向上につながる授業～  
<教科からのアプローチ>

- ・ 1時間の学習課題を明確に。
- ・ つけたい力の定着の確認
- ・ 家庭学習への支援

### 保健室から

- ・ 自分の健康状態や発達の状態を知り、健康管理ができる生徒の育成。
- ・ 他者を思い、自己を大切にできる心豊かな生徒の育成。
- ・ 命の大切さに気づくことのできる生徒の育成。

## 学校教育目標

### 笑顔があふれ、学びと活動がある学校

- 笑顔…他者とのよりよい人間関係の構築（人権意識）
- 学び…生きる力となる確かな学力（授業改善）
- 活動…目標を持った主体的活動（部活動、学友会活動）

## 目指す学校像

- ・ 生徒にとって 楽しく安心できる場所
- ・ 教師にとって 同僚性を発揮した学び合う場所
- ・ 保護者の方にとって 安心して我が子を通わせる場所
- ・ 地域にとって 信頼できる場所

## 生徒の願い

- ・ 明るく楽しい学校
- ・ あいさつ、清掃がしっかりできる学校
- ・ 地域に貢献できる学校
- ・ 誇りの持てる母校中込中学校

## 生徒の実態

- ・ 心優しく、素直な生徒が多い。話を聴く姿勢や友と関わりながら学ぼうとする姿ができてくる。
- ・ 友への心ない言動やメディアを介したトラブルも出てきているなど、他者とのよりよい関係を築いていく必要がある。
- ・ 学友会活動などを通して、自分たちの問題を自らの手で解決していこうという気持ちが高まってきている。

## 学校評価アンケートから分かった課題

- ①わかりやすい授業づくりの一層の推進
- ②家庭学習への支援の必要
- ③教育相談の充実と家庭との連携の一層の推進

## 保護者

- ・ PTA活動の充実
- ・ 学校・家庭間の連絡、外部機関との連携
- ・ 学校評価アンケートの複数回実施

## 地域

- ・ 安全の確保
- ・ 地域の人材活用  
(地域交流講座の開催・総合的な学習の時間)
- ・ 信州型コミュニティースクールの充実

## (1) 将来につながる生活づくり

- ・ あいさつ、返事が当たり前に行える学校
- ・ ルール、時間を意識した行動
- ・ 清掃ができる生徒
- ・ 言葉による意志の交換
- ・ 自分たちの生活を自ら見返して改善しようとする生徒

### 【重点】

- ・ 朝の一声は「おはようございます」から。
- ・ 授業前のあいさつは全員で声を出して行う。
- ・ 集団行動としての全校集会の入退場で無言の徹底。
- ・ メディア週間をはじめとする生活習慣の改善への取り組み
- ・ 発表の場を確保する。  
(全校集会、学年集会、グループ学習などで)

## (2) 学力の定着

- ・ 基礎学力の定着
- ・ よりよい授業を目指しての授業改善  
～主体的・対話的で深い学びがある授業実践～
- ・ 自己表現と他者理解から自らの学びを認めることのできる生徒の育成

### 【重点】

- ・ 1時間の授業のつけるべき力を明確にする。  
(板書により生徒に明示)
- ・ 見返しの時間を確保する。(授業後半、次時、間を空けて)
- ・ 家庭学習の課題の内容の工夫と達成の確認を行う

### 【検証】

- ・ 定期テストや各種調査による数値からの分析
- ・ 各種検定への挑戦と合格数を前年度と比較
- ・ 学校評価アンケートでの生徒、保護者からのフィードバック

## (3) 達成感が得られる活動

- ・ 学友会、部活動における連帯感と責任
- ・ 地域とのつながり (地域清掃、人材活用)
- ・ 力試しの場の設定
- ・ 居心地の良い環境づくり

### 【重点】

- ・ 参加している活動の目標を明確にする。  
(学友会カード、学習カード などへの記入)
- ・ 日常におけるあいさつなど地域との接点を多くする。
- ・ 検定、大会、コンクールなどに積極的に参加する。  
(日常の活動に目標を入れる)
- ・ 年間2回のQ-U検査の実施と、評価を行う。
- ・ 不登校や教室に入れない生徒へのチームとしての支援体制を整える。
- ・ 教師自らが人権感覚を磨き、生徒のよさを引き出す指導に心がける。